

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮崎県

行事名称	高千穂神社防火訓練
実施期間・日時	令和7年1月27日(月) 9:00~10:00
実施場所	高千穂神社(宮崎県高千穂町大字三田井1037)
主催者	高千穂神社、西臼杵消防署、高千穂町消防団、高千穂町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

高千穂神社本殿にて火災が発生したことを想定。本殿周辺の林野への延焼及び逃げ遅れた負傷者がいることを想定。

訓練の内容

神社職員による火災発見、通報、初期消火(バケツリレー・消火器)、重要物品(模擬)の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練、消防署による負傷者の搬送訓練を実施。

参加者及び役割分担

高千穂神社職員(10名): 119番通報、初期消火、重要物品の搬出
 高千穂町消防団(16名): 放水訓練
 西臼杵消防署(10名): 全体統括、放水訓練、負傷者搬送訓練、講評
 高千穂町役場総務課(2名): 現場立会い
 高千穂町教育委員会(1名): 現場立会い

特に工夫した点

放水訓練の水利は、神社表参道の40t地下タンクを利用し、消防署が表参道から本殿消火、消防団が裏参道から林野への延焼防止とそれぞれ分担し放水訓練を実施した。また、放水訓練終了後、神社職員を対象に消火器の使用法の講習会を実施した。

問題点・課題

今回の訓練は観光客の少ない時期だったため、訓練中も観光客はほとんどいない状況だったが、正月や夏休みなど観光客の多い時期に火災が発生した場合、円滑な消防車両の進入や境内の観光客の誘導などができるのかが課題。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて防火訓練を行っているが、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、有事の際の関係者間の連携を確認する良い機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



放水訓練



講習会